

福島第二原子力発電所 復旧計画の進捗状況について

(月報：平成 24 年 5 月)

平成 24 年 6 月 5 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

福島第二原子力発電所では、現在、原子力事業者防災業務計画に基づき策定した復旧計画（平成 24 年 1 月 31 日提出、5 月 31 日改訂）に則り、プラントの冷温停止維持に係わる設備等の復旧を進めています。

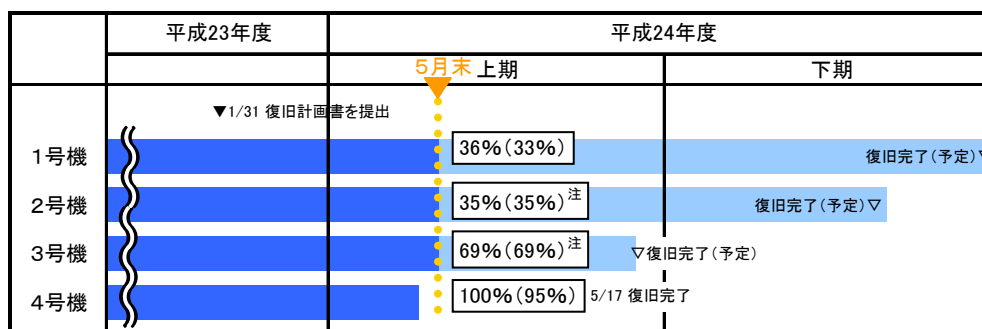
平成 24 年 5 月末現在の復旧作業等の状況について、以下のとおりお知らせします。

1. 復旧計画の進捗状況

4号機は、平成 24 年 5 月 17 日までに、冷温停止の維持に必要な設備等について本設設備への復旧が完了しました。また、本設化完了後に実施する社内自主検査についても、同日までにすべて完了しました。

その後、復旧計画に係るこれまでの実施状況についてとりまとめ、5 月 31 日、国に報告しました。（平成 24 年 5 月 31 日お知らせ済み）

また、1～3号機における復旧作業は順調に進んでいます。



●表中の％は、復旧計画に基づく復旧作業（本設化完了まで）の平成 24 年 5 月末時点の進捗割合。

（ ）内の％は前月末時点の同割合。詳細は資料 1 を参照。

●本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしている（号機毎）。

（注） 2、3号機は資料 1 の各ステップに変動がなかったため前月同様の進捗割合となっているものの、各種作業は順調に進捗している。

2. 復旧計画に基づく主な作業状況（平成 24 年 5 月）

○1号機残留熱除去機器冷却系（C系）電動機の据付完了

津波の影響をうけた 1 号機残留熱除去機器冷却系（C系）の電動機については、修理後、津波再来対策の一環として 3 号機タービン建屋の 2 階に仮置きしていましたが、平成 24 年 3 月 31 日までに海水熱交換器建屋の水密化対策工事が完了（月報：

平成 24 年 3 月にてお知らせ済み)したことから、5 月 22 日、1 号機海水熱交換器建屋 1 階に戻しました。(据付完了)【資料 1・資料 2 参照】

今後、試運転による機能確認、当該電動機に供給する電源盤の設置、およびケーブルの本設化を進めてまいります。

○1号機残留熱除去機器冷却海水系（C系）電動機の据付完了

津波の影響をうけた 1 号機残留熱除去機器冷却海水系（C 系）の電動機については、修理後、津波再来対策の一環として 1 号機海水熱交換器建屋の 2 階に仮置きしていましたが、平成 24 年 3 月 31 日までに海水熱交換器建屋の水密化対策工事が完了（月報：平成 24 年 3 月にてお知らせ済み）したことから、5 月 15 日、同建屋 1 階に戻しました。(据付完了)【資料 1・資料 2 参照】

今後、試運転による機能確認、当該電動機に供給する電源盤の設置、およびケーブルの本設化を進めてまいります。

○4号機原子炉冷却材浄化系のパージライン（A系・B系）本設化完了

4 号機原子炉建屋 1 階にある原子炉冷却材浄化系のパージライン*¹（A 系・B 系）については、平成 24 年 5 月 17 日までに、仮設ホースから本設配管・弁への切替、通水試験等を実施し、機能に問題がないことを確認したことから、本設化が完了しました。【資料 1・資料 2 参照】

3. その他の主な作業状況（平成 24 年 5 月）

○2号機原子炉格納容器内の目視点検完了

2 号機原子炉格納容器内の目視点検については、平成 24 年 5 月 29 日までに完了しました。

その結果、原子炉冷却材の漏えいがなかったこと、また、原子炉格納容器内の各設備・機器・配管等に大きな変形・損傷等はなく、冷温停止機能に影響を及ぼすものはなかったことを確認しました。

なお、冷温停止に至るまでの一時的な高温・高湿環境等により、一部機器表面の塗装面のはがれや錆等、軽微な影響は見られたものの、いずれも冷温停止機能に影響を与えるものではありませんでした。(平成 24 年 5 月 29 日お知らせ済み)

【資料 3 参照】

当社は、緊急事態解除宣言時に原子力安全委員会から示された 4 項目の留意事項*²を踏まえ、引き続き、復旧計画に基づく原子力災害事後対策を進め、さらなる信頼性向上に努めてまいります。

なお、留意事項のうち 4. については、平成 24 年 3 月末までに対象系統の抽出を行い、現在、各対象系統への影響についての評価を実施中です。

以 上

※添付資料

- ・資料1 福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年5月末現在）
- ・資料2 <写真> 復旧計画に基づく主な作業状況（平成24年5月）
 - ・1号機残留熱除去機器冷却系（C系）電動機の据付完了
 - ・1号機残留熱除去機器冷却海水系（C系）電動機の据付完了
 - ・4号機原子炉冷却材浄化系のパーズライン（A系・B系）本設化完了
- ・資料3 <写真> その他の主な作業状況（平成24年5月）
 - ・2号機原子炉格納容器内の目視点検完了
- ・資料4 <写真> その他トピックス（平成24年5月）
 - ・1～4号機タービン建屋における地震・津波の影響と現況

* 1 パージライン

原子炉冷却材浄化系循環ポンプの封水ライン。

* 2 原子力安全委員会から示された4項目の留意事項

平成23年12月26日、原子力安全委員会から内閣総理大臣に対して、当社福島第二原子力発電所に係る原子力緊急事態解除宣言を行っても差し支え無い旨の意見が示されるとともに、同宣言を行うにあたっての留意事項が示された。また、平成24年1月11日、経済産業省原子力安全・保安院から、福島第二原子力発電所の復旧計画の策定及びその実施にあたっては、当該留意事項について対応するよう指示があった。

1. 福島第二原子力発電所の一部の設備については、仮設設備となっており、これらの設備について適切に維持管理を行うこと。また、計画的に仮設設備の依存度を下げること。
2. 残留熱除去系の一部等の安全設備が復旧していないことから、それらが復旧するまでの間、状況に応じて適切な管理を行うこと。また、自然災害等に備えて、更なる安全確保に万全を期すこと。
3. 作業員の安全を含め安全管理に徹底を期すこと。
4. 冷温停止にいたるまでに、通常時と異なる圧力・温度等の履歴があったことを踏まえ、施設に対するこれらの影響を検討すること。

進捗に係わる各ステップの日付の定義は以下のとおり。

- 撤去 → 対象設備を取り外し、搬出が完了した日
- 発電所搬入 → 対象設備の工場修理（新規製作）後、構内の設置建屋への搬入が完了した日
- 現場据付 → 対象設備をすべて架台に設置完了した日
- 機能確認 → 対象設備単体が復旧し、系統として機能することを確認した日
（例）電源盤であれば受電した日、設備であれば系統復旧後（電源除く）の試験運転を実施し問題ないことを確認した日 等
- 本設切替 → 仮設から本設に切り替えた日（主に電源）
- 本設化完了予定 → 本設化完了の予定時期（完了したものは、完了日）

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年5月末現在）

1号機

凡例： ■:実施中,点検中,修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
6.9kV 電源系	C系	電源盤 (M/C 1C) 新規製作	H23.10.31	H24.3.15	H24.3.28			H24. 上期	
	H系	電源盤 (M/C 1HPCS) 新規製作						H24. 下期	
480V 電源系	C-1系	電源盤 (P/C 1C-1) 新規製作	H23.12.7	H24.4.13	H24.4.19			H24. 上期	
	C-2系	電源盤 (P/C 1C-2) 新規製作	H23.11.11					H24. 上期	
	D-2系	電源盤 (P/C 1D-2) 新規製作	H23.12.14					H24. 上期	
非常用ディーゼル発電設備	制御盤関係	新規製作						H24. 下期	
	発電機	新規製作及び修理	H23.8.29					H24. 下期	
	ディーゼル機関	修理						H24. 下期	
	補助設備	新規製作及び修理	H24.1.23					H24. 下期	
	制御盤関係	新規製作	H23.11.15					H24. 下期	
	発電機	新規製作及び修理	H23.10.19					H24. 下期	
	ディーゼル機関	修理						H24. 下期	
	補助設備	新規製作及び修理	H24.1.23					H24. 下期	
直流電源	充電器	新規製作	H23.9.16					H24. 下期	
	蓄電池	新規製作	H23.6.3					H24. 下期	
地震計	新規製作・取替						H24. 下期		
低圧炉心スプレイ系	高圧電源(M/C 1C)系及びケーブルの復旧						H24. 上期		

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年5月末現在）

1号機

凡例: ■:実施中,点検中,修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
残留熱除去系	A系	高圧電源(M/C 1C)系及びケーブルの復旧				H23.11.17		H24. 上期	
	C系	高圧電源(M/C 1C)系及びケーブルの復旧						H24. 上期	
残留熱除去機器冷却系	A系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.10.26	23.10.27	H23.11.9		H24. 下期	
	B系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.20	H23.9.21	H23.9.26		H24. 上期	
	C系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H24.5.22	H24.5.22			H24. 下期	
	D系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.20	H23.9.20	H24.3.15		H24. 上期	
残留熱除去機器冷却海水系	A系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.5	H23.11.2	H23.11.11		H24. 下期	
	B系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧			H24.4.5	H24.4.12		H24. 上期	
	C系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.5	H24.5.15			H24. 下期	
	D系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧			H24.1.6	H24.1.12		H24. 上期	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧		H23.10.26	H23.10.27	H23.11.4		H24. 下期	
	B系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.11.22	H23.11.25	H23.11.26		H24. 上期	
原子炉冷却材浄化系	A系	電源(P/C 1C-1)系及びケーブルの復旧及びパーズライン本設化						H24. 下期	
	B系	パーズライン本設化						H24. 上期	
高圧炉心スプレイ系		高圧電源(M/C 1HPCS)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
高圧炉心スプレイ系補機冷却系		高圧電源(M/C 1HPCS)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
高圧炉心スプレイ系補機冷却海水系		高圧電源(M/C 1HPCS)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
原子炉補機冷却系	A系	電源(P/C 1C-2)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
	B系	電源(P/C 1D-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.2	H23.7.4	H23.7.14		H24. 上期	
復水補給水系		電源(P/C 1C-1)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	
非常用ガス処理系		電源(P/C 1C-1)系及びケーブルの復旧						H24. 下期	

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。

*パーズライン : 原子炉冷却材浄化系循環ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **36%** です。(前月33%)

注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年5月末現在）

2号機

凡例: ■:実施中, 点検中, 修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備	作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
480V 電源系	C-2系 電源盤(P/C 2C-2)新規製作						H24.下期	
	D-2系 電源盤(P/C 2D-2)新規製作						H24.下期	
残留熱除去機器冷却系	A系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧				H23.8.6		H24.下期	
	B系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.14		H24.下期	
	C系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧						H24.下期	
	D系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.24		H24.下期	
残留熱除去機器冷却海水系	A系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.28	H23.7.28	H23.8.6		H24.下期	
	B系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧		H24.3.1				H24.下期	
	C系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.2				H24.下期	
	D系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.12	H23.9.12	H23.10.12		H24.下期	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.26	H23.7.26	H23.8.3		H24.下期	
	B系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.14		H24.下期	
原子炉補機冷却系	A系 電源(P/C 2C-2)系及びケーブルの復旧						H24.下期	
	B系 電源(P/C 2D-2)系及びケーブルの復旧		H23.6.28	H23.6.28	H23.7.12		H24.下期	
原子炉冷却材浄化系	A系 パージライン本設化						H24.上期	
	B系 パージライン本設化						H24.上期	
高圧炉心スプレイ系補機冷却海水系	電動機新規製作	H23.9.2					H24.上期	

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
 *P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で磁気遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
 *パージライン: 原子炉冷却材浄化系循環ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **35%** です。(前月35%)
 注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100
 ※本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。
 ※本表の各ステップに変動がなかったため前月同様の割合となっているものの、各種作業は順調に進捗しています。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年5月末現在）

3号機

凡例: ■:実施中,点検中,修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
480V 電源系	C-2系	電源盤(P/C 3C-2)新規製作	H23.9.15	H24.1.26	H24.1.27			H24.上期	
残留熱除去機器冷却系	A系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.2	H23.8.3	H23.8.26		H24.上期	
	C系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.29	H23.8.30	H23.9.9		H24.上期	
残留熱除去機器冷却海水系	A系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.24	H23.8.24	H23.8.30		H24.上期	
	C系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.5	H23.9.7	H23.9.14		H24.上期	
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系	電源(P/C 3C-2)系及びケーブルの復旧		H23.8.2	H23.8.3	H23.8.23		H24.上期	
原子炉冷却材浄化系	A系	パーシライン本設化						H24.上期	
	B系	パーシライン本設化						H24.上期	

- *M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
- *P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で気中遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
- *パーシライン: 原子炉冷却材浄化系循環ポンプの封水ライン

現在の進捗状況の割合は **69%** です。(前月69%)

注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。
 ※本表の各ステップに変動がなかったため前月同様の割合となっているものの、各種作業は順調に進捗しています。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年5月末現在）

4号機

凡例： ■:実施中, 点検中, 修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外
 日付は終了(完了)日を記入 □:前回の月報からの更新箇所

対象設備		作業内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
480V 電源系	C-2系	電源盤(P/C 4C-2)新規製作	H23.9.7	H23.12.2	H23.12.9	H24.1.30		H24.1.30	H24.5.15
	D-2系	電源盤(P/C 4D-2)新規製作	H23.9.30	H24.2.28	H24.3.8	H24.3.23		H24.3.23	H24.5.16
残留熱除去機器冷却系	A系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.8	H23.7.8	H23.7.25	H24.2.24	H24.2.24	H24.5.15
	B系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.5	H23.7.5	H23.7.7	H24.4.11	H24.4.11	H24.5.16
	C系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H24.4.19	H24.4.19	H24.4.26	H24.4.26	H24.4.26	H24.5.15
	D系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.5	H23.9.5	H23.9.29	H24.4.12	H24.4.12	H24.5.16
残留熱除去機器冷却海水系	A系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.27	H23.7.27	H23.8.2	H24.2.24	H24.2.24	H24.5.15
	B系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H23.9.7	H23.9.7	H23.9.21	H24.4.11	H24.4.11	H24.5.16
	C系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.27	H24.4.18	H24.4.26	H24.4.26	H24.4.26	H24.5.15
	D系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧		H24.4.17	H24.4.17	H24.4.25	H24.4.25	H24.4.25	H24.5.16
非常用ディーゼル発電設備冷却系	A系	電源(P/C 4C-2)系及びケーブルの復旧		H23.7.8	H23.7.8	H23.7.21	H24.2.24	H24.2.24	H24.5.15
	B系	電源(P/C 4D-2)系及びケーブルの復旧				H23.3.14	H24.4.12	H24.4.12	H24.5.16
原子炉冷却材浄化系	A系	パーゼライン本設化					H24.5.11	H24.5.11	H24.5.17
	B系	パーゼライン本設化					H24.5.17	H24.5.17	H24.5.17

*M/C : Metal-Clad Switch Gear / メタクラ
 所内高電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器または真空遮断器、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
 *P/C : Power Center / パワーセンター
 所内低電圧回路に使用される動力電源盤で、磁気遮断器(ACB)、保護継電器、付属計器をコンパクトに収納したもの。
 *パーゼライン：原子炉冷却材浄化系(循環ポンプの封水ライン)

平成24年5月17日、復旧が完了（100%）しました。
 （前月95%）

注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

※本設化完了後に実施した社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行いました。

福島第二原子力発電所 復旧計画に基づく作業の進捗状況（平成24年5月末現在）

共通設備		凡例: ■:実施中,点検中,修理中 ■:完了 ■:未着手 ■:実施対象外 日付は終了(完了)日を記入 ■:前回の月報からの更新箇所							
対象設備		点検内容	撤去	発電所搬入	現場据付	機能確認	本設切替	本設化完了予定	社内自主検査
放水口モニタ	1・2号	新規製作・取替	■	■	■	■	■	H24.下期	
	3・4号	新規製作・取替	■	■	■	■	■	H24.上期	

現在の進捗状況の割合は **0%** です。（前月0%）

注)進捗状況の割合(%)=(完了のマス数)/(撤去から本設切替までの全マス数-実施対象外マス数)×100

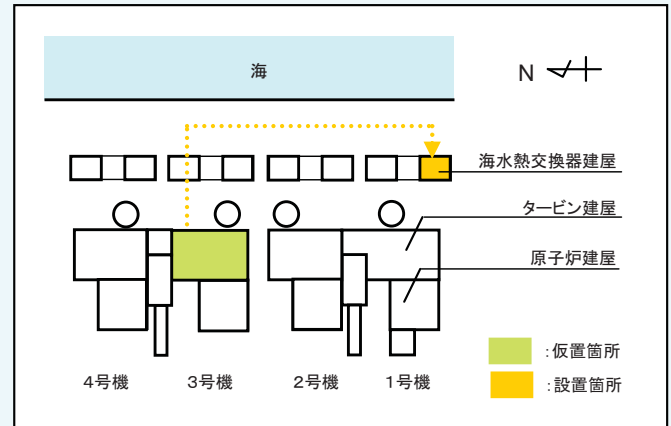
※本設化完了後に実施する社内自主検査において、復旧計画に係る対象設備の健全性確認を行うこととしています。

● 1号機 残留熱除去機器冷却系 (C系) 電動機の据付完了 (5月22日)

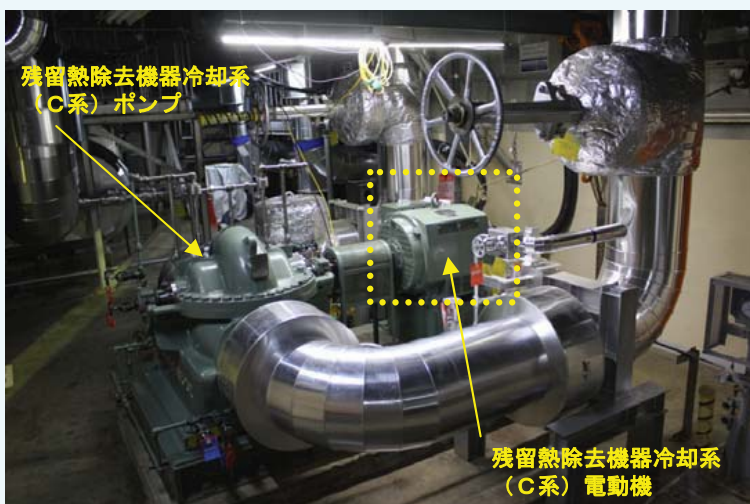
津波の影響を受けた1号機残留熱除去機器冷却系 (C系) の電動機については、修理後、津波再来対策の一環として3号機タービン建屋の2階に仮置きしておりましたが、平成24年3月31日までに海水熱交換器建屋の水密化対策工事が完了したことから、5月22日、1号機海水熱交換器建屋1階に戻しました。(据付完了)



残留熱除去機器冷却系 (C系)
電動機の移動作業
(3号機タービン建屋)
(平成24年5月22日撮影)



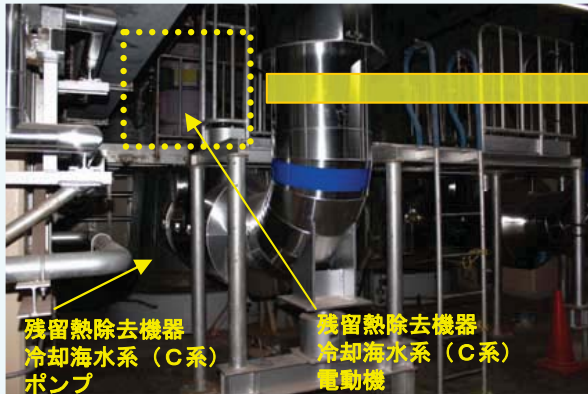
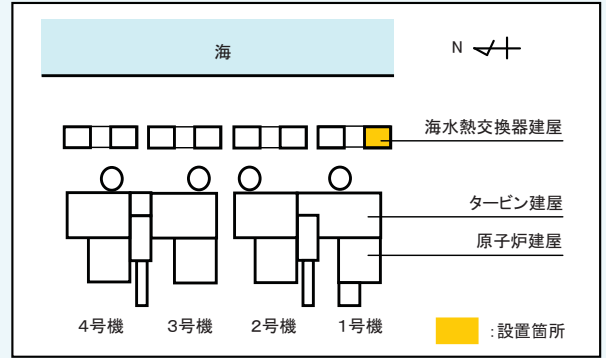
残留熱除去機器冷却系 (C系) 電動機の据付作業 (拡大)
(1号機海水熱交換器建屋1階)
(平成24年5月22日撮影)



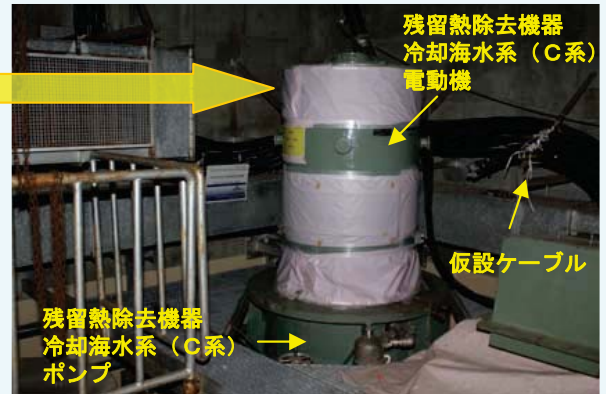
残留熱除去機器冷却系 (C系) 電動機の据付状況
(1号機海水熱交換器建屋1階)
(平成24年5月31日撮影)

● 1号機 残留熱除去機器冷却海水系（C系）電動機の据付完了（5月15日）

津波の影響を受けた1号機残留熱除去機器冷却海水系（C系）の電動機については、修理後、津波再来対策の一環として1号機海水熱交換器建屋の2階に仮置きしておりましたが、平成24年3月31日までに海水熱交換器建屋の水密化対策工事が完了したことから、5月15日、同建屋1階に戻しました。（据付完了）



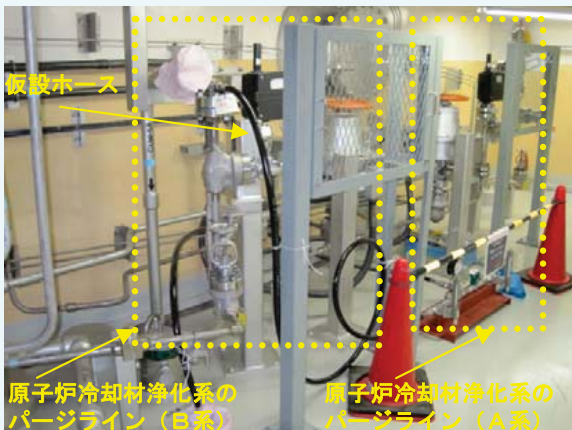
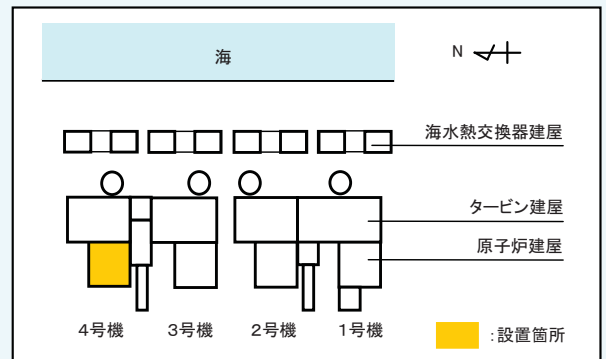
残留熱除去機器冷却海水系(C系)
電動機の据付状況
(1号機海水熱交換器建屋1階)
(平成24年5月31日撮影)



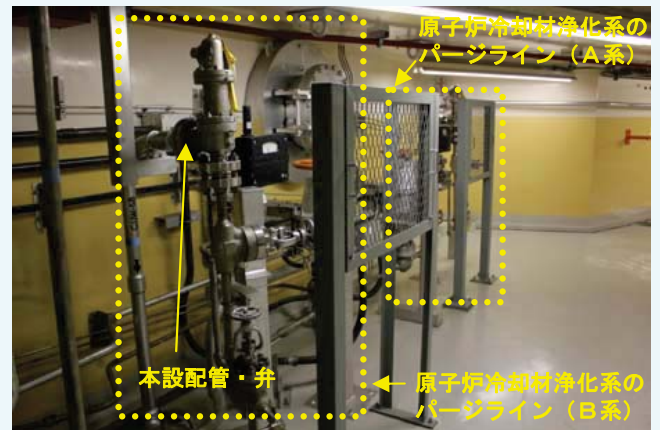
残留熱除去機器冷却海水系(C系)
電動機の据付状況(拡大)
(1号機海水熱交換器建屋1階)
(平成24年5月31日撮影)

● 4号機 原子炉冷却材浄化系のパーズライン（A系・B系）本設化完了（5月17日）

4号機原子炉冷却材浄化系のパーズライン（A系・B系）については、平成24年5月17日までに、仮設ホースから本設配管・弁への切替、通水試験等を実施し、機能に問題がないことを確認したことから、本設化が完了しました。



原子炉冷却材浄化系のパーズライン
(4号機原子炉建屋1階)
(平成24年5月10日撮影)



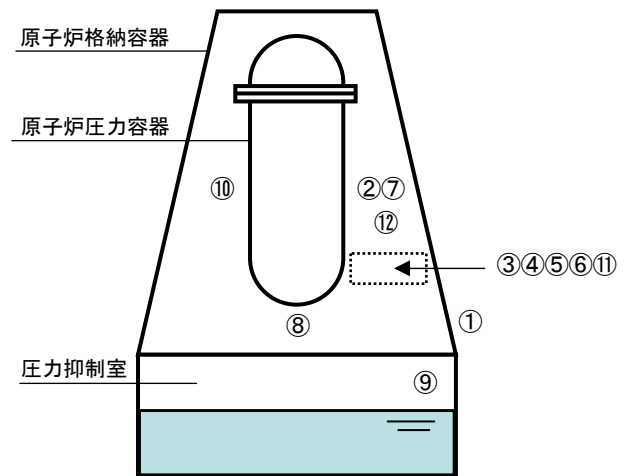
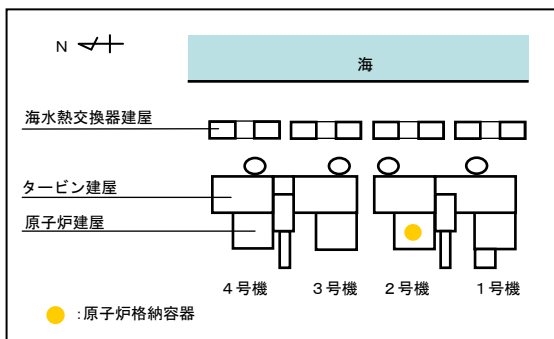
原子炉冷却材浄化系のパーズライン
(4号機原子炉建屋1階)
(平成24年5月31日撮影)

● 2号機 原子炉格納容器内の目視点検完了（5月29日）

- ・ 2号機原子炉格納容器内の目視点検を平成24年5月29日までに完了しました。
- ・ その結果、原子炉冷却材の漏えいがなかったこと、また、原子炉格納容器内の各設備・機器・配管等に大きな変形・損傷等はなく、冷温停止機能に影響を及ぼすものはなかったことを確認しました。
- ・ 冷温停止に至るまでの一時的な高温・高湿環境等により、一部機器表面の塗装面のはがれや錆等、軽微な影響は見られたものの、いずれも冷温停止機能に影響を与えるものではありませんでした。（平成24年5月29日お知らせ済み）

<点検実績（平成24年5月末現在）>

1号機	平成23年12月27日	～	平成24年2月28日	[目視点検完了]
2号機	平成24年3月6日	～	平成24年5月29日	[目視点検完了]
3号機	平成24年2月14日	～	平成24年4月5日	[目視点検完了]
4号機	平成23年8月29日	～	平成23年12月21日	[目視点検完了]



○ 主な目視点検設備と目視点検の様子

平成24年5月29日までに目視点検が完了し、原子炉冷却材の漏えいがなかったこと、格納容器内の各設備・機器・配管等に大きな変形・損傷等はなく、冷温停止機能に影響を及ぼすものはなかったことを確認しました。



①原子炉格納容器入口
(所員用エアロック)
(平成24年5月10日撮影)



②原子炉格納容器内の状況
(主蒸気逃がし安全弁)
(平成24年4月17日撮影)

○ 主な目視点検設備と目視点検の様子(前頁からの続き)

平成24年5月29日までに目視点検が完了し、原子炉冷却材の漏えいがなかったこと、格納容器内の各設備・機器・配管等に大きな変形・損傷等はなく、冷温停止機能に影響を及ぼすものはなかったことを確認しました。



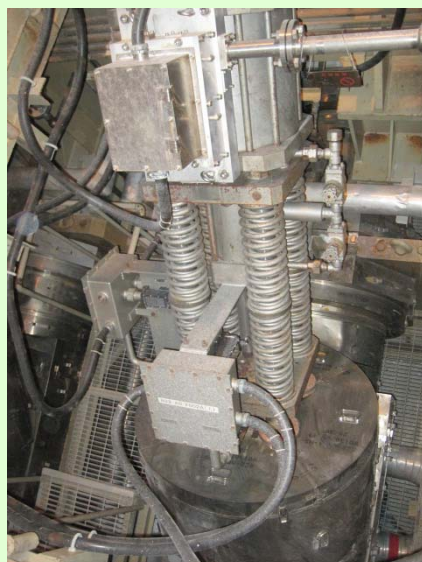
③原子炉格納容器内その1
(制御棒駆動水圧系配管周辺)
(平成24年4月11日撮影)



④原子炉格納容器内その2
(制御棒駆動水圧系配管周辺)
(平成24年4月11日撮影)



⑤目視点検の様子(その1)
(平成24年5月10日撮影)



⑥主蒸気隔離弁
(平成24年4月11日撮影)



⑦目視点検の様子(その2)
(平成24年5月10日撮影)



⑧ペDESTAL部
(原子炉圧力容器の基礎台)
(平成24年5月10日撮影)

○軽微な影響がみられた主な箇所（平成24年5月29日お知らせ済み）

冷温停止に至るまでの一時的な高温・高湿環境等により、一部機器表面の塗装面のはがれや錆等、軽微な影響は見られたものの、いずれも冷温停止機能に影響を与えるものではありませんでした。



⑨真空破壊弁表面の錆
(平成24年4月17日撮影)



⑩主蒸気系配管の塗装剥離
(平成24年3月13日撮影)



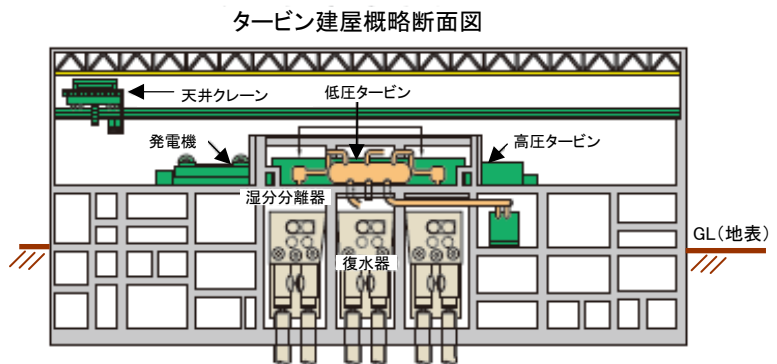
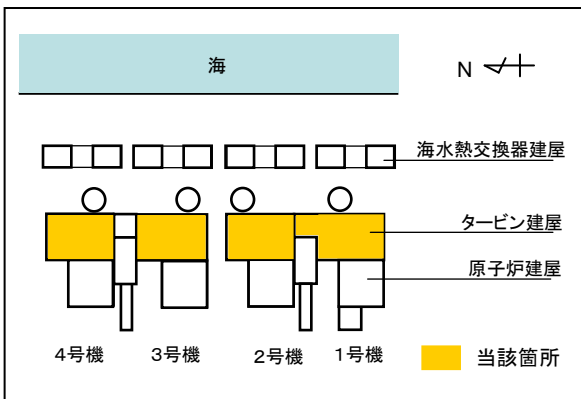
⑪グレーチングの亜鉛メッキ剥離（白い粉）
(平成24年4月17日撮影)



⑫電動弁開度計アクリルカバーの変色
(平成24年3月13日撮影)

● 1～4号機タービン建屋における地震・津波の影響と現況

- ・平成23年3月11日、1～4号機は、定格熱出力一定運転中のところ、東北地方太平洋沖地震により原子炉ならびにタービンが自動停止しました。
- ・タービン建屋内の各設備の外観目視点検において、有意な損傷等は確認されませんでした。
- ・4号機を除く各タービン建屋内に津波による海水の浸水を確認しました。
- ・地震後の設備状況を確認するため、平成23年11月7日～平成24年1月11日にかけて、4号機を代表として高圧・低圧タービンの内部点検を行い、動翼および静翼等に地震の影響による接触痕を確認しましたが、いずれも軽微なものであり、安全上問題となるものではありませんでした。(平成24年1月12日お知らせ済み)
- ・現在、各タービンは、停止した状態で適切に保管しています。



○タービン建屋の外観

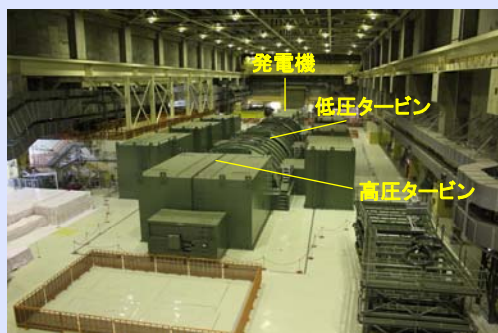
外観上有意な損傷等は確認されておりません。



タービン建屋の外観
(平成24年5月25日撮影)

○各タービン建屋2階オペレーティングフロアの現況

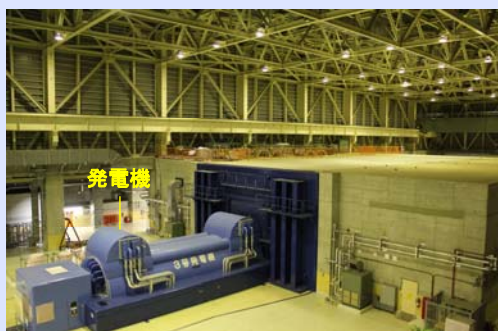
タービン建屋内の各設備については、有意な損傷等は確認されませんでした。



1号機タービン建屋2階フロアの現況
(平成24年5月15日撮影)



2号機タービン建屋2階フロアの現況
(平成24年5月15日撮影)



3号機タービン建屋2階フロアの現況
(平成24年5月15日撮影)



4号機タービン建屋2階フロアの現況
(平成24年5月15日撮影)

○タービン建屋における津波の影響と現況

浸水した各設備については、水抜き・清掃が完了しています。



1号機タービン建屋地下1階復水器室
浸水後の状況(平成23年3月20日撮影)



1号機タービン建屋地下1階復水器室の現況
(平成24年5月24日撮影)



3号機タービン建屋地下2階加熱蒸気凝縮水移送
ポンプ浸水後の状況(平成23年3月19日撮影)



3号機タービン建屋地下2階加熱蒸気凝縮水移送
ポンプの現況(平成24年5月24日撮影)

○タービン建屋における地震の影響について(4号機タービン点検)(平成24年1月12日お知らせ済み)

4号機タービンにおいて、地震による設備への影響を確認するための内部点検を実施しました。

<点検期間>

平成23年11月7日～平成24年1月11日

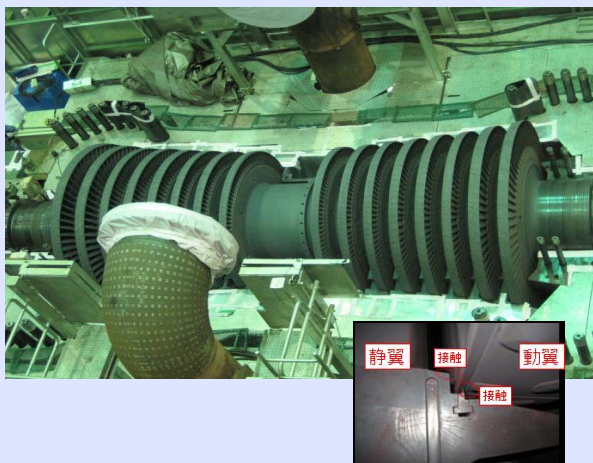
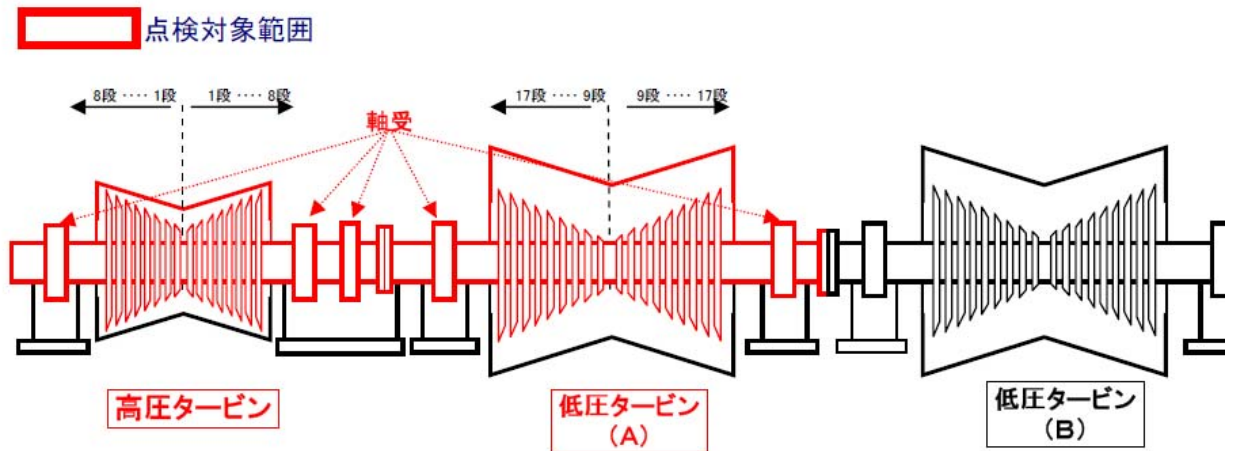
<点検対象機器>

- 低圧タービン(A)【動翼(全周)、静翼(上半)】
- 高圧タービン【動翼(全周)、静翼(上半)】
- 軸受部(高圧タービンから低圧タービン(A)まで)

<点検結果概要>

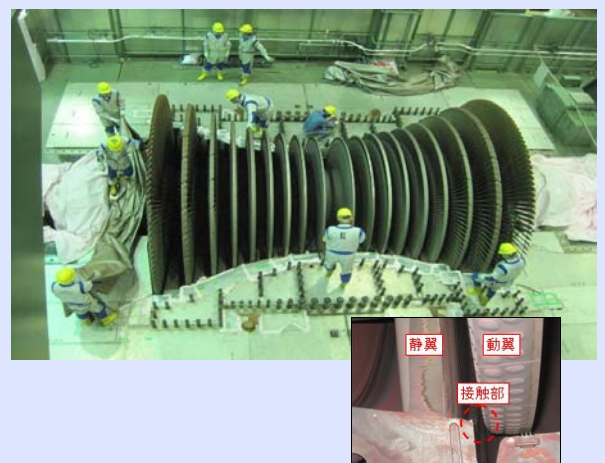
通常の運転で見られる軽微なひび以外に、低圧タービン(A)および高圧タービンの動翼と静翼の先端部、ならびに軸受部の油切り等に東北地方太平洋沖地震の影響による接触痕を確認しましたが、いずれも軽微なものであり、安全上問題となるものではありませんでした。

今回の内部点検では、大きな損傷等はなく、安全上問題となるものではありませんでした。
今後、タービン関連機器については、適切に保管を行ってまいります。



4号機 高圧タービンの点検状況
(平成23年12月7日撮影)

- ・高圧タービンは左右対称に動翼と静翼が1段から8段まであり、点検の結果、1段から8段までの両翼の先端部に地震の揺れによる動翼と静翼の接触痕を確認。
- ・いずれも軽微なものであり、安全上問題となるものではなかった。



4号機 低圧タービンの点検状況
(平成23年12月2日撮影)

- ・低圧タービン(A)は左右対称に動翼と静翼が9段から17段まであり、点検の結果、9段から14段までの両翼の先端部に地震の揺れによる動翼と静翼の接触痕を確認。
- ・いずれも軽微なものであり、安全上問題となるものではなかった。